

Jクラブ × 政府・自治体の協働事例



コンサドーレ札幌 公式サイトより



地域イベントなどへの参加

1年を通して、選手やスタッフ、ドーレくんが地域主催のイベントにゲストとして参加し、会場の盛り上げに協力させていただいています。

参加イベント（一部）

とよひらおもしろスノーパーク（2月）、厚別区民まつり（7月）、東月寒まちづくり協議会「童夢」交通安全街頭啓発（10月）など



札幌市との協働

- 札幌市内の小学生を対象に、環境意識の向上を図るためのサッカー大会「かんきょうみらいカップ」への協力
- スタジアムのごみ減少、分別の実施、リサイクルへの模索。
- エコ・ドーム構想の推進

ザスパクサツ群馬 公式サイトより



ザスパクサツ群馬では社会貢献活動を行なっている各種団体の啓発キャンペーンへの協力や地域のイベントに選手やマスコットの湯友が積極的に参加しております。



暴力団等排除宣言への協力

Jリーグ関係者および都民等の一層の暴力団排除機運を高めるため、昨年に引き続き警視庁およびJリーグと連携し実施しました。



東京都健康づくり推進への協力

東京都が2013年3月に策定した「東京都健康推進プラン21(第二次)」で目指している、都民一人ひとりが負担感なく実践できる生活習慣の改善方法について、健康づくり推進キャラクター「ケンコウデスカマン」が来場。PR活動を実施しました。



緑の募金

ECO活動の一環で、味の素スタジアムで実施したホームゲームのゴール数だけ東京都緑の募金へ寄付をしています。

人権啓発活動への協力

東京都人権啓発活動ネットワーク協議会と連携して、子どもや若者を中心とした年齢層向に人権問題に関して理解を深めるためにPR活動を実施しました。

オレンジリボン(児童虐待防止シンボルマーク)普及啓発活動への協力

東京都福祉保険局少子社会対策部と連携して、オレンジリボン普及啓発活動のPR活動を実施しました。



JICAと国際交流

クラブの国際化と社会貢献を目的に、独立行政法人国際協力機構(JICA)と国際交流を開始。



キャンペーン活動への協力

社会貢献活動をされる各種団体の啓発キャンペーンに協力をさせていただいております。試合前やハーフタイムの時間を利用して、啓発バナーで会場を周回したり、大型映像装置を利用して告知・啓発の協力をしています。

主な啓発活動

- エイズ予防啓発運動
- 薬物乱用防止啓発運動
- 県警指名手配被疑者捜査強化月間告知協力
- 脳卒中予防啓発
- 山梨県赤十字血液センター献血啓発運動
- 交通事故防止県民運動
- 人権擁護啓発運動
- 赤い羽根共同募金
- 県警振り込め詐欺防止キャンペーン



ホームタウンふれあい活動

地域社会のこどもの健全育成を目的に「ホームタウンふれあい活動」を2003年にスタート。小学校にガンバ選手が訪問し、こどもたちとの触れ合いを続けています。2012年には参加児童が20万人を突破し、吹田教育委員会から感謝状をいただきました。



自治体との連携

自治体と連携し、様々な取り組みを行っています。健康増進を目的とした「歩け歩けウォーキング」も毎年恒例となり5年目となる2013年度も多くの方にご参加いただきました。また、3年目を迎えたPRIDE OF 中四国も近隣の4県(鳥取県、徳島県、愛媛県、岡山県)の自治体を中心となり、じゃんけん大会や各地域の踊りの演舞など、試合当日を地域間交流の場として盛上げていただきました。





一日血液センター所長
7月20日(祝)
13:30~14:30

サッカー J2 リーグ
カマタマーレ讃岐の選手2人が
「一日血液センター所長」に就任します!

高松市立屋島小学校合唱部の♪
無敵な歌声もお楽しみに!

お楽しみ抽選会も
してるっち!
遊びに来るっち!

西川県・日本赤十字社西川県支部・西川県赤十字血液センター
協力：西川県学生献血推進協議会「LOVERS」

日本赤十字社 西川県赤十字血液センター



※写真は昨年の様子です。

ロアッソ熊本 公式サイトより



2016.02.16

2月16日（火）熊本国税局で「インターネットによる確定申告模擬体験」に、巻選手、黒木選手、ロアッソくんが参加しました。熊本国税局職員のもと、パソコンを使っても模擬体験を体験、巻選手、黒木選手とも「想像していたよりも簡単に作成することができました」とPR



- Jクラブの伝える力をご活用ください
- ホームタウン自治体内に、Jクラブ担当部局がございます
- 費用については個別のご相談となります
 - 試合会場にブース出展
 - 試合会場の大型スクリーン・LEDアドボードでの表示
 - 着ぐるみ、トップ選手派遣など

